

森林公園の平成29年度管理状況

様式 1

施設所管課	観光戦略推進部観光企画課
施設管理者	森林公園地域振興会・金沢森林組合エコグループ 代表者 一般社団法人森林公園地域振興会 代表理事 坂本 守
指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日
中期経営目標 (H27～H29)	①利用者数を3年間で3%増加させます。 ②利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項 目	実施内容
① サービス向上・利用促進	<p>施設の使用受付、案内等の接客向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「経営理念、行動指針」を策定し職員の意識向上をさせているほか、接客研修を職員全員に実施 ・「行動指針」の「より清潔に、より快適に」を目標に、トイレやバーベキュー施設、炊事棟などの衛生管理を徹底した。 ・障害ある方等に対し「公共サービス窓口における配慮マニュアル」により、相手の立場に立って対応するよう努めた。 <p>利用者の苦情・意見の把握・対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートを実施（230件） ・HPでメールによる意見、問合せを受付しニーズ等を把握 ・苦情対応マニュアルを策定し対応している <p>その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフォメーションセンター内でBGM放送を開始し、安らぎ空間を演出 ・インフォメーションセンターに公衆無線LANを導入 ・利用者へ双眼鏡やクマ避け鈴を無料貸出し ・雨天時にブルーシートを貸出し <p>自主事業の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験教室等のイベントの開催（35回、参加人数1022人） ・平成25年3月、森林セラピー基地に認定（※県内初、平成24年1月申請） <p>周辺地域、関係機関との連携・協力の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元商工会、農協、津幡町、エコグループで組織した「森林公園活性化津幡町連携協議会」により、地元特産の「マコモ」をテーマとしたイベントを開催 ・津幡町森林セラピー推進協議会と連携しPR活動を実施。 ・森林セラピーソサエティの公認資格（森林セラピスト）を取得するための2次試験を誘致し森林公園を全国にアピールする機会となった。（全国から27名が受験し、合格する） ・森林セラピスト、ガイドの講習会の開催（のべ79名が参加） ・地元ボランティア団体と連携し展示ギャラリーに展示（12回、延344日、観覧者40,397人） ・新しい企画「いきいきチャレンジ50」を実施。（登録者にスタンプカードを渡し、来園した際に日付印を窓口で押して、来園回数に応じて、粗品・缶バッチ・回数認定書などを提供する。登録者数220人、のべ来園者数8120人）

② 広報活動	施設の情報提供、広報、広告 ・学校の遠足等の企画時期に合わせ森林公園の資料を配付（1, 145校 富山、福井県へも発送） ・新聞社、テレビ、タウン誌、季刊誌等への情報提供 ・イベント案内掲示を公民館など地元市町施設や町内ショッピングセンター等に依頼 ・プレミアムパスポート事業に参加（フィールドアスレチック）
--------	--

(2) 平成30年度における取組内容の見直し等

実施内容
自主事業の内容の見直しを行い改善や新企画を実施 森林セラピー基地を活用した各種イベントの開催

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H25年度 (基準値)	H27年度	H28年度	H29年度	前年度比	基準値比	H29年度 (目標値)
(1) 利用者数	183,555人	176,655人	182,924人	182,358人	99.7%	99.3%	189,060人
(2) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス	98.6%	99.0%	97.9%	97.8%	▲0.1 ^ポ	▲0.8 ^ポ	95.0%
施設の維持管理	95.6%	96.0%	96.0%	89.9%	▲6.1 ^ポ	▲5.7 ^ポ	95.0%

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る対前年度増減理由>

指 標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	県民みどりの祭典、MISIAの里山ミュージアム、森の青空アートなどの大型イベントが好天の中で開催されたことで増加した。また、いきいきチャレンジ50の新しい企画により昨年度を上回る数字で推移した。しかし、12月末からの大雪により、客足が伸びず、最終的には昨年度とほぼ同じとなった。	県民みどりの祭典、MISIAの里山ミュージアム、森の青空アートなどの大型イベントが引き続き好調であったが、三国山園地（三国山キャンプ場）で地すべりが発生したため、平成27年4月より休園している関係で、最終的には、基準値とほぼ同じとなった。

<利用者アンケート結果（平成29年4月～平成30年3月まで実施 有効回答数230件）>

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	67.8%	30.0%	2.2%	0.0%
施設の維持管理	50.4%	39.5%	9.2%	0.9%

3 施設等の維持管理

項目	実施内容
(1) 清掃	大型施設、トイレ、広場は常時実施 道路（遊歩道） 路面清掃を3・4・11月に実施
(2) 設備保守点検	各広場林道管理（各専門業者へ委託） 保守点検（各専門業者へ委託）
(3) 植栽維持管理	草刈り 6～9月の間実施
(4) 警備	警備（夜間警備を専門業者へ委託）
(5) 小規模修繕	支障木伐採等 15件 林道関連補修 9件 水道設備 4件 備品設置 5件 動物園 3件 アスレチック 5件 建物等修繕 5件 その他 30件 計 76件

4 管理運営体制

項目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	・「災害時における森林公園地域振興会・金沢森林組合エコグループ対応マニュアル」を策定し、職員へ周知 ・安全衛生委員会の開催、労災防止研修会の開催
(2) 個人情報の管理状況	・「森林公園管理受託業務共同企業体個人情報保護規程」に基づき管理

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

(単位：件)

項目	許可件数	不許可件数	不許可理由
インフォメーションセンター学習ホール	150	0	
運動広場	26	0	
トンカチ館	(閉鎖中)	-	
合計	176	0	

(2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

(単位：千円)

項目	収入額	減免額	減免理由
インフォメーションセンター学習ホール	182,890	315,410	107件：教育（学校）行事等に利用
ボート乗り場	920,230		
炊飯広場	688,160		バーベキュー炉
フィールドアスレチック	1,371,220	110,000	プレミアムスポーツ提示者
テニスコート	201,700		
コインロッカー	23,300		
ログハウス	(閉鎖中)		
オートサイト	〃		
テントサイト	〃		
バーベキュー舎	〃		
合計	3,387,500	425,410	

(3) 収支決算

(単位：千円)

収 入		支 出	
指定管理料	115,294	人件費	79,479
利用料収入	3,388	光熱水費	8,910
その他	1,389	修繕費	23,969
		その他	6,971
		税理士業務報酬等	509
合 計 ①	120,071	合 計 ②	119,838
収支差額 ①－②	233		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
平成27年4月 ～平成30年3月	歩道沿いにベンチ等を設置して欲しい 園内の案内表示の拡充	テーブル12脚ベンチ20基を歩道沿いに新設した 園内の全ての案内板及び標識の717基を調査した。H30年度に具体的対応を行う予定。

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応
平成29年4月30日	アスレチックで40才代男性が、木のササクレ部分で指を切る。	自分で病院に行き、住所氏名は確認できず。その使用器具は使用禁止とし、その後、改良する。また、手袋の貸し出しを始めた。
平成29年4月30日	アスレチックのスタート前の階段で小学生が転倒して前歯を折る。	救急車で搬送。階段については、特に対策はしない。
平成29年8月20日	アスレチックで40才代男性が、ロープが切れて落下。打撲。	その使用器具は、使用禁止とし、ロープを麻素材から化学繊維素材に変更することを決定。古いものから順次交換中。
平成29年10月8日	40才代と70才代の女性が、中央林道でスズメバチに刺される。	ポイズンリムーバで吸引処置をするとともに救急車を呼び病院へ搬送。中央林道から数メートル脇に入ったヤブの地面の中にあったスズメバチの巣を除去した。
平成29年12月10日	当公園職員が卓上丸鋸で竹を切断中、誤って左手人差し指の第2関節下を切傷した。	救急車で搬送。通院治療のみ、労災申請。警察の事情聴取を受ける。(事故であることを確認。) 公園職員・作業員に対しては、事故報告書で注意喚起と事故対策を周知した。

8 その他報告事項など

三国山キャンプ場の一部が平成27年9月7日付け官報6612号告示番号2078号地すべり防止区域に指定。三国山キャンプ場は地すべり対策調査、工事のため平成27年4月29日から休園。

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	B	<ul style="list-style-type: none"> ・従来からの「いしかわ事業者版環境ISO登録」、「石川の森林整備活動CO2吸収量認証制度」及び「いしかわ版里山づくりISO認証」に加え、石川県初の「森林セラピー基地」の認定など利用促進につながる取組みをしている。 ・自主的なイベントを充実させ、積極的な広報活動を行っており、また、地元との連携により交流が活発に行なわれ、利用者数が増加している。 ・アンケート調査結果も良好である。
(2) 施設等の維持管理	B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の清掃、林道、広場の除草等は適期に行われているほか、専門業者へ保守点検を委託するなど適切な維持管理と修繕に努めているが、アンケート結果（施設の維持管理）の満足度が下がってきているので精査する必要がある。
(3) 管理運営体制	C	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の管理技術向上のため樹木・草花研修の自主的な実施や自然体験活動指導者資格の取得、安全衛生委員会、労働災害防止研修会の開催など積極的に行ない安全管理技術の向上に努めている。 ・非常時の連絡体制やマニュアルが定められており、事故が5件（昨年度0件）発生したが、適切に処理されている。
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントを充実させ、接遇や管理技術、安全管理など技術の向上に対する前向きな取組みは評価できる。また、森林公園の自然を活かし、森林環境や生態系の保全などイベントを通して紹介するなど保育園児から高齢者まで広く地域の住民に親しまれる運営がなされている。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項

特になし